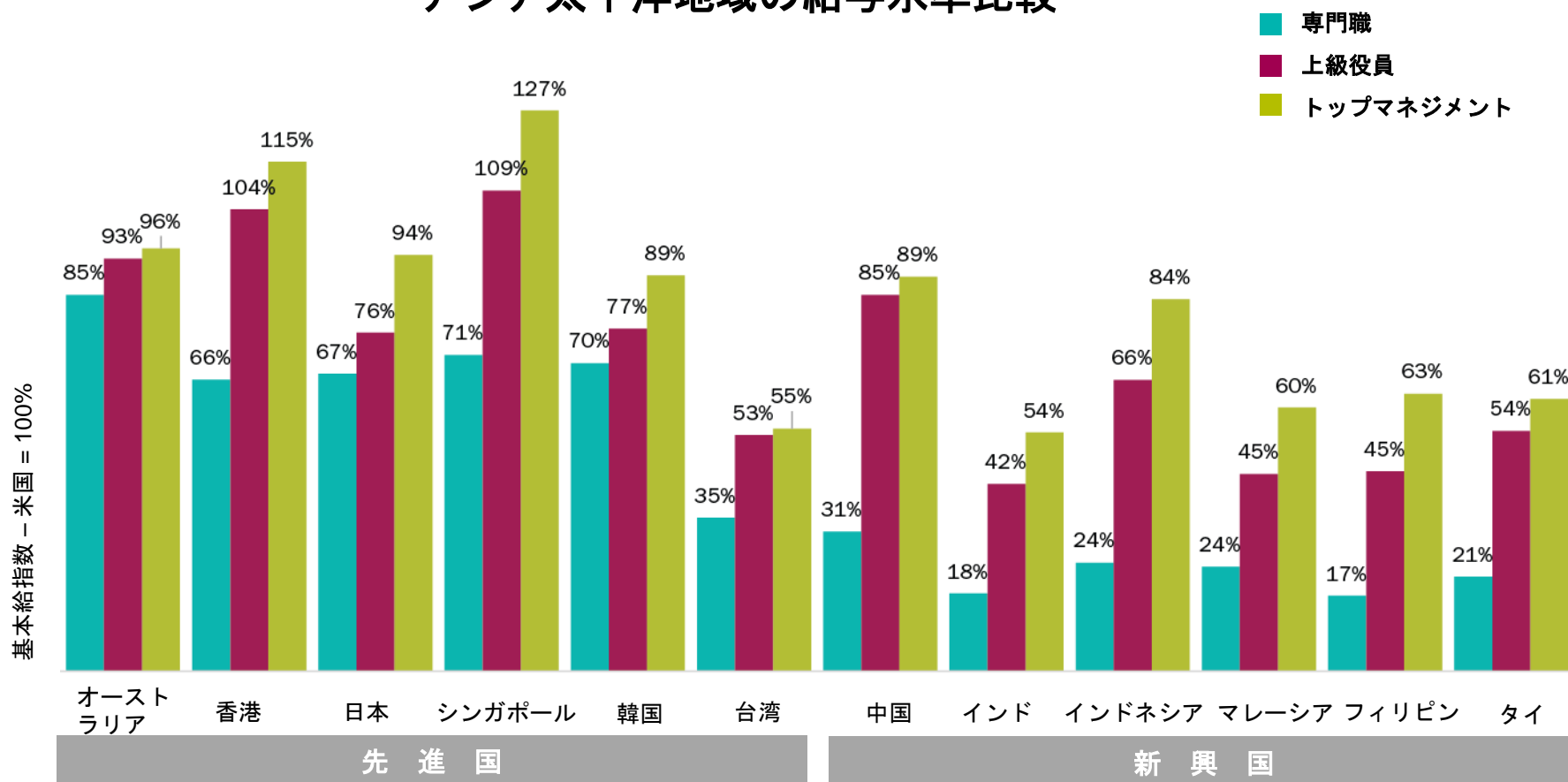


# アジア内でみる給与競争力の現状

2015/16年版グローバル50報酬レポートーアジア太平洋地域の考察

## アジア太平洋地域の給与水準比較



## 新興ASEAN諸国の低い給与が中国の競争力を侵食

東南アジア諸国連合（ASEAN）\*の新興国における基本給は  
中国本土を大きく下回る



中国の専門職の給与は  
フィリピンおよびベトナムを  
**90%～120%**上回る

中国の基本給は  
新興ASEAN諸国で  
最も労働コストが高い  
インドネシアを  
**5%～44%**上回る



\*ASEANにはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイおよびベトナムが含まれる。シンガポールは先進国と見なされているため、新興ASEAN諸国からは除かれる。

## シンガポールの基本給は中国をはるかに上回る

シンガポールの給与は依然アジアで最も高く、世界中からトップクラスの人材を呼び込むために、グローバルにみても魅力的な報酬を提示

シンガポールの  
専門職の給与は  
中国の  
**2倍**  
以上



中間管理職から  
トップマネジメント層で  
見ると  
シンガポールは中国を  
**28%～52%**  
上回る

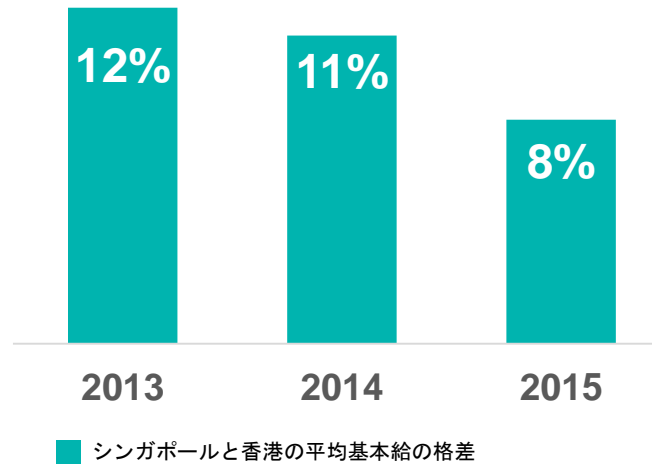


## シンガポールと香港の給与格差は縮小しつつある

シンガポールの平均給与は  
香港を  
**8%**上回る

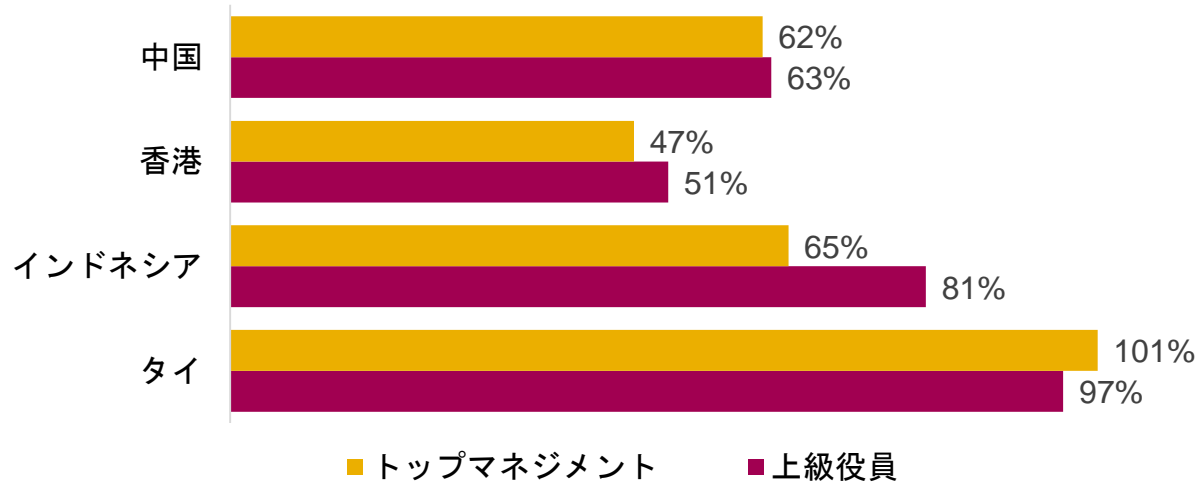
香港の有利な税率によって  
シンガポールとの給与格差は  
一段と縮小

基本給の比較 -- シンガポールと香港



## 台湾の上級役員・トップマネジメント給与は劣後

### 上級役員とトップマネジメントの給与水準：台湾とその他アジア



給与格差は、台湾において上級役員・トップマネジメントの人材供給が安定的である一方、新興ASEAN諸国では不足していることが原因と考えられる。